

■ボランティアに参加した高校生にInterview



小林大祐さん
(16歳・邑久町福元)

ホールマネジメント講座を勉強しています。日ごろ触れられないような機械や機材に触ってみたいと思い始めました。思ったより複雑ですが、音響、照明、舞台転換などを行い、充実した時間を過ごしています。皆さんの前で、実際にこの仕事をやってみて、高校生でもしっかり支えられるんだと感じました。



石川貴絵さん
(16歳・長船町長船)

邑友タイムは、普段体験できないことができる貴重な時間です。図書室ボランティアをしています。今は3匹の子ぶたのパネルシアターを作っています。自分たちが作ったもので、子どもたちが喜ぶ顔が見てみたいです。



北村淑恵さん
(16歳・邑久町豊原)

地域やみんなのために役立てるボランティアが好きです。いろいろな人と関わって、人としての関係が持ててよかったと、とてもやりがいを感じます。喜之助フェスティバルに参加し、案内係などを手伝いました。見に来た人から「ありがとう。また来年も見に来るから」と声を掛けられて、とてもうれしかったです。



小家あずささん
(16歳・長船町服部)

邑友タイムは、いろいろなことが経験できる楽しい時間です。年齢の離れた人と話することがなかったけど、今は共通の話題があると話が弾みます。これからも、機会があれば手話のボランティアに参加したいと思います。多くの人と触れ合え、役立てるし、何よりとても楽しいです。



服部優理さん
(16歳・牛窓町牛窓)

手話を始めて、自分の紹介や手話での会話が出来るようになり、うれしいです。すごく楽しいです。大会でみんなの前で手話をした時は、練習したことをするだけなのに、すごく緊張しました。ボランティアは自分がやりたいと思うからやっているだけで、それが結果的に誰かの役に立っていればうれしいです。



木下佳奈さん
(16歳・牛窓町牛窓)

わたしは、普段できないホールマネジメントをやってみたくて思いました。基礎を習っていました。実際に本番でしてみると、よく分かって楽しかったです。初めての照明でしたが、色を変えるなどして、その場が映えるように自分なりに考えて工夫しました。実践で分かることもあるので、まだまだいろいろ経験してうまくなりたいです。



神宝統久さん(1学年主任教諭)

邑友タイムは、生徒たちが、地域の皆さんと接する良い機会です。生徒たちには、社会人と接することでコミュニケーションのとおり方を勉強し、各講座でのさまざまな実体験を自分の財産にしてほしいと思っています。

地域で活躍する若い力

邑

久町公民館で行われているパソコン教室に、「もつと、



講座の講師は、共通の話題でも和やかな雰囲気

講

座に参加する皆さんは、「孫と話してると、気持ちが若返るよ」と今まではなかったと

ま

た高校生たちは、「共通の話題でいろいろ話ができて、とても楽しい」と地域の皆さんとの交流に喜びを感じていました。

年齢の垣根を越えた
コミュニケーション

友タイムは、高校生が講座の皆さんと、年齢の垣根などを飛び越えて交わるコミュニケーションの時間ともいえます。

パソコンに慣れたい」「いろいろな機能を知って、もつと利用したい」と市民の皆さんが通い、パソコンの勉強をしています。「パソコン教室以外の時間にも、パソコンをやりたい」。そんな声に答えて、月に5・6回程度、高校生ボランティアによるパソコン室開放日が行われてきました。

パ

ソコン講座を受講した生徒たちが、高校生パソコンボランティアとして、開放日にやってきた地域の皆さんの質問に答えられます。操作の仕方や文字の打ち方などが分からないとき、高校生ボランティアが親切に教えてくれます。

ま

た、昨年8月19・20日に開催された喜之助フェスティバルや、2月2日の備前地区公民館振興大会でも多くの高校生が、司会や手話、ホールマネジメントなどのボランティアで活躍しました。

活

躍する場を与えられた高校生、そしてその活動により活気づく地域。地域と人を結ぶ若い力は、まちの活力源といえるのではないのでしょうか。



中川全さん(72歳・邑久町山田庄) パソコンに興味があり、始めてみました。邑久町公民館で行われているパソコン講座を受講したり、高校生ボランティアによるパソコン室開放日に通ったりして勉強しています。パソコン室開放日に行くと、本を見ながら操作し、分からない所を高校生に聞いてみました。生徒たちは、みんな親切に教えてくれます。年齢を越えていろいろ話ができ、とても有意義な時間です。高校生が、社会の現場に出ているの観察すること、体験することは、素晴らしいことだと思えます。